「公共事業コスト構造改革プログラム」
【 施策名：（３）調達の最適化　【１】入札・契約の見直し 】

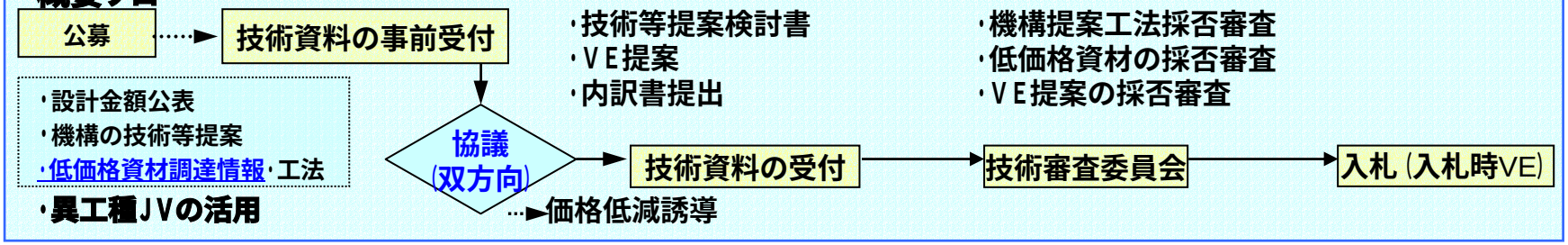
双方向提案型入札時VE方式によるコスト縮減

概　要：従来の入札時VE方式に加え機構からも技術等提案を行い、入札前に双方向で協議を実施し提案内容について確認を行うことにより、より多くの提案を採用しコスト縮減を図る。

（従来）　　（新）
入札参加業者からの一方向提案　⇒　機構からの提案を加えた双方向協議

効　果　①現場・施工条件を熟知した発注者からの提案・双方向協議によるコスト縮減効果の更なる発現。
②低価格資材調達情報の提供による資材価格の縮減。
■技術等提案による縮減額約６４百万円（内機構の提案分５９百万円）

概要フロー



都市再生機構